

2024年3月4日  
日本化粧品工業会

JCIA アクティビティレポート《第3号》

1. 2024年化粧品業界新年会開催報告

2024年の化粧品業界関係の新年会は以下のとおり開催された。(開催日時順)

開催日	会合名	場所	参加人数
1月5日(金)	日本化粧品工業会西日本支部・関係業界新年互礼会(大阪)	ホテル阪急インターナショナル「紫苑」	627名
	化粧品歯磨業界連合新年会	ザ・プリンス パークタワー東京「ボールルーム」	1195名
1月25日(木)	日本化粧品工業会中部日本地区新年賀詞交歓会	名古屋マリオットアソシアホテル「コスモス」	115名

○日本化粧品工業会西日本支部・関係業界新年互礼会(大阪)



主催者挨拶: 西村支部長



来賓挨拶:  
近畿経済産業局産業部  
製造産業課長  
辻 敦士様



来賓挨拶:  
公正取引委員会事務総局  
近畿中国四国事務所  
取引課長 石本将之様



乾杯挨拶:  
大阪府化粧品日用品卸組合  
株式会社 PALTAC  
代表取締役会長 糟谷誠一様

来賓挨拶: 大阪府健康医療部生活衛生室薬務課課長 石橋真理子様

○化粧品歯磨業界連合新年会



主催者挨拶:魚谷会長



乾杯挨拶:濱日本歯磨工業会会長



来賓挨拶:  
経済産業省商務・サービス政策統括調整官  
山影雅良様



来賓挨拶:  
厚生労働省 大臣官房審議官(医薬担当)  
吉田易範様

○日本化粧品工業会中部日本地区新年賀詞交歓会



主催者挨拶:水野支部長

来賓挨拶:

中部経済産業局地域経済部航空宇宙・次世代産業課課長 片桐祐子様  
愛知県保健医療局生活衛生部医薬安全課課長 早川直宏様

乾杯挨拶:愛知県経済産業局産業部産業振興課課長 小池玉置様

## 2. 粧工会(JcIA)主催セミナー開催報告

開催日	タイトル	開催形式	参加人数	関連 URL
2023 年 11月15(水) (12月14日(木)～ 12月20日(水))	2023 年度 消費者窓口対応講習会	大阪商工会議所 7 F 国際会議ホール (オンデマンド配信 実施)	451名 ※会員限定	<a href="https://www.jcia.org">ビジョン   日本化粧品 工業会 (jcia.org)</a>
11月21日(火)	第 44 回 化粧品技術情報交流会議	ベルサール汐留 2F ホールと Zoom に よるハイブリッド開 催 (オンデマンド配信 実施)	422名 ※会員限定	<a href="https://www.jcia.org">安全性とサイエンス   日本化粧品工業会 (jcia.org)</a>
11月29日(水)	化粧品等の適正広告に関する講習 会	石川県地場産業 振興センター新館 5F 第 12 研修室	36 名 ※福井、石川、 富山、新潟、 岐阜の各県許 可業者限定	<a href="https://www.jcia.org">法令遵守への取り組み   日本化粧品工業会 (jcia.org)</a>
12月7日(木) (12月11日(月)～ 12月24日(日))	2023 年度社会課題セミナー 「バリューチェーンにおける人権・労 働リスク対応の手引き」について	Zoom による オンラインライブ開 催 (オンデマンド配信 実施)	187名 ※会員限定	<a href="https://www.jcia.org">サステナビリティへの 取り組み   日本化粧品 工業会 (jcia.org)</a>
12月18日(月)	2023年度薬事関係等講習会	ホテルアソシア静岡 と Zoom によるハ イブリッド開催	840名	<a href="https://www.jcia.org">法令遵守への取り組み   日本化粧品工業会 (jcia.org)</a>
2024 年 1月23日(火)	イクオリティ(平等な機会)・インクル ージョン研修～管理職としてなにか できるか～	粧工会東京本部 3階会議室	25名 ※会員限定	<a href="https://www.jcia.org">サステナビリティへの 取り組み   日本化粧品 工業会 (jcia.org)</a>

### ○第 44 回化粧品技術情報交流会議



※今後開催予定のイベント・セミナーについては、日本化粧品工業会ホームページ「イベント・セミナー」内に掲載しております。

URL:<https://www.jcia.org/admin/event/>

### 3. 粧工会の国際活動報告

粧工会は、2023年11月～2024年2月にかけて、以下の国際活動を行った。

(以下、粧工会をJcIAと表記する。)

#### 【国際会議】

##### ICCR-18

目的:化粧品規制当局から構成される化粧品規制協力のための多国間会議。目的は、国際貿易の障壁を最小化しつつ、高いレベルの世界的な消費者保護を維持すること。主なテーマは、消費者コミュニケーション、安全性評価の統合戦略IIなど

正式メンバー国:日、米、欧、カナダ、ブラジル、台湾、韓国、イスラエル

オブザーバー国:アルゼンチン、チリ、エジプト、中国、サウジアラビア、タイ、イギリス

議長国:台湾

日本側参加者:厚生労働省/医薬品医療機器総合機構

JcIA: 国際委員会 ICCR 部会委員、JcIA 担当事務局員

#### [ICCR Joint Steering Committee]

行政と業界間での運営会議。ガバナンス、Joint Working Group の進捗状況について確認・議論

開催日:2023年10月31日、12月14日(オンライン)

#### [ICCR Industry Steering Committee]

業界メンバーの運営会議。課題に対する業界の対応を協議。

開催日:2023年12月12日、2024年1月31日(オンライン)

#### [ICCR Joint Working Group]

##### ●Integrated Strategy for Safety Assessment of Cosmetics II WG

開催日:2023年11月15日、12月13日、2024年1月24日(オンライン)

課題:動物を用いずに化粧品の安全性を保証する考え方のベストプラクティスの作成

##### ●Consumer Communication WG

開催日:2023年11月14日(オンライン)

課題:アレルギーの次に消費者にコミュニケーションしていく課題の選出

##### ●PFAS ad hoc Meeting

開催日:2024年1月31日(オンライン)

課題:PFASに関するアンケート調査への対応を協議

## ISO/TC 217

International Standardization Organization Technical Committee 217 /

国際標準化機構 専門委員会・化粧品

TC 217 Plenary Meeting 及び傘下 Working Group Meeting

開催日：2023年11月6日-9日

開催地：ストックホルム(スウェーデン)+ オンライン

会議：Plenary, CAG(Chair's Advisory Group)、WG1, WG3, WG4, WG7

参加国：サウジアラビア、フランス、ブラジル、日本、アメリカ、スウェーデン、オランダ、韓国、南  
アフリカ、コロンビア、イラン、タイ、アルゼンチン、ニュージーランド、スリランカ、ドイツ、ケニ  
ヤ、スペイン、ロシア、シンガポール、中国他

日本からの参加者：対面5名、オンライン8名



### [TC 217 Plenary Meeting]

開催日：2023年11月9日

主な議題：TC 217 活動報告、傘下 WG の活動報告、関連 TC とのリエゾン報告、TC  
217 Business Plan、次回開催国提案

### [CAG(Chair's Advisory Group)]

開催日：2023年11月8日

主な議題：TC 217 活動報告、傘下 WG の活動報告、TC 217 Business Plane,  
Future work

### [Working Group 1: Microbiology]

開催日：2023年11月6日

WG1:微生物管理の試験法に関する working group

主な議題：プロバイオティクス製品の試験法作成ガイドランスの検討

[Working Group 3: Analytical Methods]

WG3:分析法に関する working group

開催日:2023年11月8日

主な議題:ISO/TS22176:2020(定量的な分析法のバリデーションのアプローチ)に関する定期見直し、1,4-ジオキサンの検出及び定量法

[Work Group 4: Terminology]

WG4:化粧品の命名に関する working group

開催日:2023年11月6日

主な議題:ISO16128(自然・オーガニック化粧品原料および製品の定義と基準)の定期見直し

[Working Group 7: Sun Protection Test Methods]

WG7:紫外線防御試験法に関する working group

開催日:2023年11月6-7日

主な議題:in vitro SPF 試験法(ダブルプレート法)および Hybrid Defuse Reflectance Spectrometry 法の DIS に向けた検討。Future work の検討

IAC Meeting

IAC: International Association Collaboration / 国際化粧品協力会議

加盟工業会: CAC(カナダ)、CE(欧州)、PCPC(米)、ABIHPEC(ブラジル)、Accord(オーストラリア)、CASIC(ラテンアメリカ)、ANDI(コロンビア)、CANIPEC(メキシコ)、SKW(スイス)、IKW(ドイツ)、CTPA(英)、KCA(韓国)、JcIA 他

議題:化粧品業界に係る共通の課題について WG を設置して議論。

- UN POP Principle Meeting :2023年11月30日(オンライン)
- Refillable WG :2024年1月30日(オンライン)
- Enhancement of Effectiveness WG: 2024年1月22日(オンライン)
- UN Plastic Pollution Treaty WG :2024年1月24日(オンライン)
- EU Fragrance Allergen Labelling(Cosmetics Europe 主催 Webinar) :  
2024年1月23日(オンライン)

【国際交流、連携、協力等】

CAFFCI 年次総会及び国際化粧品フォーラム、日中韓 2 か国間工業会会議

CAFFCI:China Association of Fragrance Flavour and Cosmetic Industries)/ 中国香料香精化粧品工業協会

開催日:2023年11月24日-27日

開催地:山東省済南

[CAFFCI 年次総会]

主な議題: 中国マクロ経済報告、化粧品産業発展レポート、消費者トレンド、先端テクノロジーと化粧品、他

出席者: 業界および中央・地方行政幹部、化粧品企業専門家、海外化粧品工業会代表など約 600 名



[国際化粧品フォーラム]

目的: アジア地域に加えて、米国、欧州での規制動向や市場動向の共有化を図ることで、化粧品工業会間の更なるグローバル連携を深める。

参加工業会: 粧工会(JcIA)、韓国化粧品工業会(KCA)、中国化粧品工業会(CAFFCI)、米国化粧品工業会(PCPC)、欧州化粧品工業会(CE)、アセアン化粧品工業会(ACA)

講演: 上記団体からの keynote speech。業界の一般的な動向、技術的な動向、規制の動向など

聴衆: CAFFCI 総会参加者、行政幹部、各工業会代表など約300名

JcIA からの講演: 演題「日本化粧品工業会におけるサステナビリティ活動」

演者 川田貴史(JcIA サステナビリティ推進委員会委員長)



[日中韓 2 개국間工業会会議]

目的: 2 개국間(日中、日韓、中韓)の課題について協議し、両工業会相互の理解と連携を深める。

中国とは新条例について日中共通の課題を確認し、協力関係のメカニズムを構築していくこ

とについて合意、韓国とは SPF 耐水性測定法に関する課題について韓国工業会から韓国行政に問い合わせることを確認した。

#### 中検院—JCIA 交流会議

中検院：中国食品医薬品検定研究院

交流会の目的：中国化粧品規制における様々な課題について意見交換するとともに、JCIA からの要望についても議論し、適切な規制の運用につなげる。

[中検院訪問]

開催日：2023 年 11 月 24 日

開催地：北京

出席者：中検院 孫所長(ガイドライン作成担当部門)ほか JCIA 事務局、中国部会現地メンバー

主な議題：化粧品効能の同等性評価、原料安全性関連情報、製品の完全版安全性評価報告書など

[中検院来日]

開催日：2023 年 12 月 15 日

開催地：東京(JCIA オフィス)

出席者：中検院(化粧品検定所) 崔副所長、張副主任  
JCIA 中国部会委員

主な議題：双方の質問とそれに対する回答。中検院からは日本における化粧品関連基準策定・改定における JCIA の役割、上市前の化粧品の安全性を確保する方法など、JCIA からはガイドラインを策定する際のプロセス、策定時の他国法規の参照、今後予定されているガイドライン、関連部門との連携などについて質問

#### Cosmetics Europe Expert Team China

Expert Team China：Cosmetics Europe 内の中国担当専門部会

開催日：2024 年 1 月 22 日

開催地：ブリュッセル(ベルギー)+オンライン

JCIA 出席者：国際委員会中国部会長、JCIA 事務局員(オンライン参加)

議題：中国化粧品規制に関する課題、懸念事項、対応策等について議論

#### Personal Care Product Council Science Executive Committee

開催日：2023 年 12 月 8 日

開催地：ワシントンD.C.(米国)

目的：PCPC の科学諮問委員会にリエゾン参加

#### International Collaboration on Cosmetic Safety (ICCS)

Animal Free な化粧品の安全性評価を研究開発し、教育を行い、行政利用を目指す国際的な非営利団体。2023年にNew Yorkに設立。グローバル化粧品企業26社、各国主要化粧品業界団体、NGOなどが参加

[Board of Directors]

開催日:2023年11月10日、12月7日(オンライン)

目的:ICCSの役員会議

[Strategy Planning Team]

開催日:2024年1月25日(オンライン)

目的:ICCSの課題遂行に向けた戦略を考えるチーム

[Core Acceptance Team]

開催日:2023年11月22日、12月19日、2024年1月16日(オンライン)

目的:ICCSの行政利用に向けた戦略を考え、行政にアプローチをするチーム

[Core Science Team]

開催日:2024年1月18日(オンライン)

目的:ICCSが推進するAnimal Freeの試験法の開発プロジェクト管理をするチーム

粧工会ホームページ(国際活動ページ)

<https://www.jcia.org/user/approach/international/>

英語版 粧工会ホームページ

<https://www.jcia.org/en/>

今回のアクティビティレポートは、2024年4月以降の発行を予定しています。

以上

日本化粧品工業会 広報委員会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-1-5 メトロシティ神谷町6F

TEL:03-5472-2530